

各 位

会 社 名 株式会社アルファクス・フード・システム
 代 表 者 名 代表取締役社長 田 村 隆 盛
 (コード番号：3814 東証 J A S D A Q)
 問 合 せ 先 執行役員 管理部長 高 田 一 信
 電 話 番 号 0 8 3 6 - 3 9 - 5 1 5 1
 U R L <http://www.afs.co.jp/>

貸倒引当金繰入額（営業外費用）の計上、および 平成 28 年 9 月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、貸倒引当金繰入額の計上と、業績の動向等を踏まえ、平成 27 年 11 月 12 日の平成 27 年 9 月期決算発表時に開示した平成 28 年 9 月期（平成 27 年 10 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）の第 2 四半期業績予想および通期業績予想を以下のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 貸倒引当金繰入額の計上について

この度、当社売掛先に対する長期未収入金の回収可能性につきまして、慎重かつ保守的に検討いたしました結果、回収見込みが不確定であるため、監査法人とも協議の上、平成 28 年 9 月期第 2 四半期において、貸倒引当金（19,162 千円）を計上することと致しました。

2. 業績予想の修正について

平成 28 年 9 月期第 2 四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成 27 年 10 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,050	160	150	100	45.82
今回修正予想 (B)	1,050	83	60	52	23.83
増減額 (B-A)	0	△77	△90	△48	—
増減率 (%)	—	△48.1	△60.0	△48.0	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 9 月期第 2 四半期)	1,024	13	8	2	0.97

平成 28 年 9 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 27 年 10 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,250	440	420	240	109.98
今回修正予想 (B)	2,250	210	180	140	64.15
増減額 (B-A)	0	△230	△240	△100	—
増減率 (%)	—	△52.3	△57.1	△41.7	—
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 9 月期)	2,204	63	52	48	22.12

3. 修正の理由

平成 28 年 9 月期第 2 四半期累計期間におきましては、前期リリースした「飲食店経営管理システム (R)」が、中食を中心とした中小飲食店に多数の引き合いを頂いたものの、今年 2 月本格的にリリースした「飲食店経営管理システム (R)」の拡張版である「自動発注システム」につきまして、外食産業の人手不足を背景に、大手及び中堅チェーンから予想外の引き合いがあり、大手外食チェーンについては、導入のためのシステム分析に手間と時間を要し、業務改革とシステム導入要員の増員が予定どおり進まず、スケジュールの遅れが見られたため、当初の予定よりも同ソフトウェアの販売は伸びませんでした。一方で、POS などのシステム機器の新規受注が予想以上に増加し、売上高は順調に推移いたしました。

結果として、売上高が順調に推移しているものの、システム機器とソフトウェアの利益率の差などから営業利益が下回る見込みです。また、上記 1 に記載いたしましたとおり、貸倒引当金繰入額の計上を行ったことなどにより、経常利益、当期純利益ともに前回公表時の予想を下回る見込みとなりました。

今後につきましても、従前の計画どおり「飲食店経営管理システム (R)」の販売を中心に営業活動を行ってまいります。上記問題点を解決するため、優先的な取り組みとして、「自動発注システム」導入前後のお客様先業務改革及びそのフォローアップ強化のための社内外のネットワーク体制の構築を強化してまいります。

したがって、通期業績予想につきましても、第 2 四半期累計期間の業績予想を加味したうえで、体制構築に時間を要することなどから、ソフトウェアの売上減少により、営業利益、経常利益、当期純利益の減少などが見込まれるため、前回発表いたしました数値を修正するものであります。ただし、売上高につきましては、システム機器等の寄与により、当初予想数値は修正しておりません。

※上記予想は、現時点で得られた情報に基づいて算出しております。したがって、実際の実績は状況の変化などにより記載の予想とは異なる場合があります。

以 上